

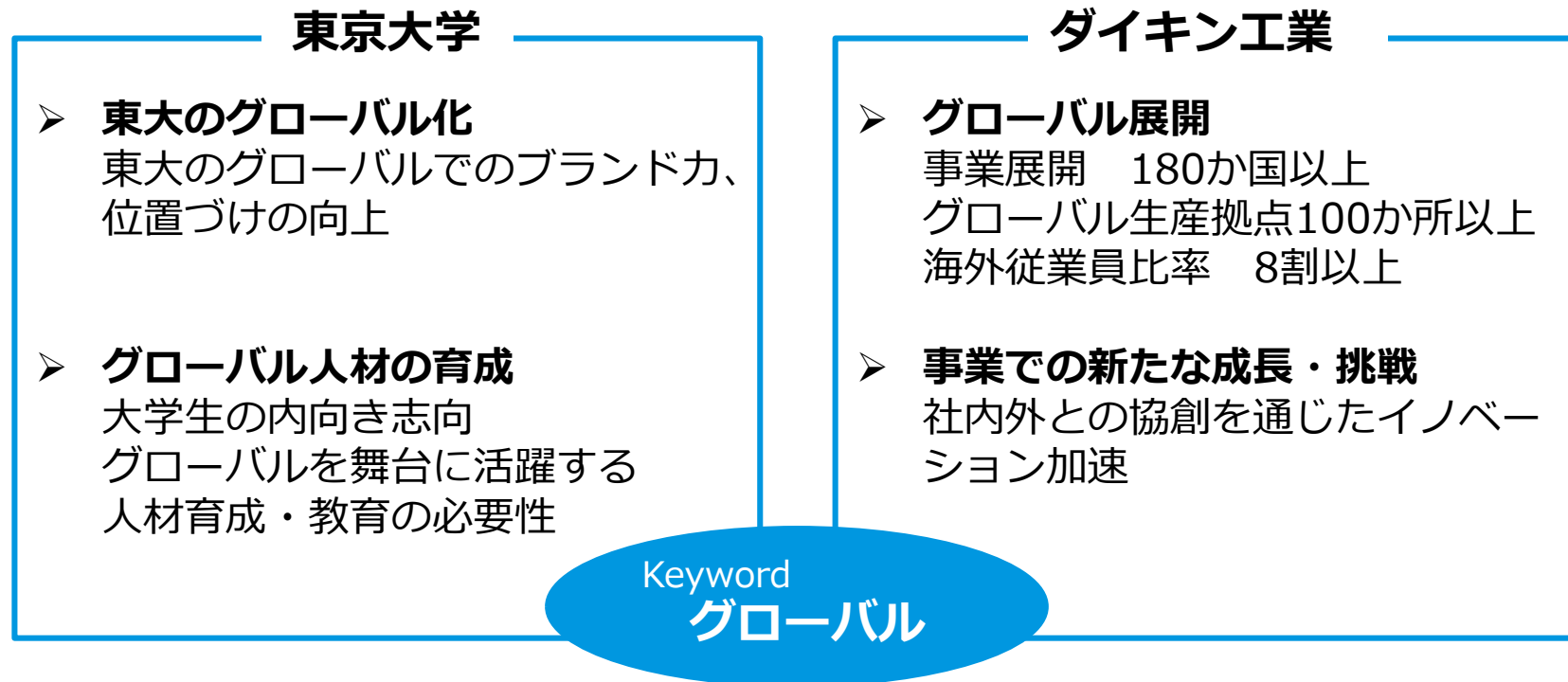


Global × Innovation人材育成フォーラム

グローバルインターンシップでの価値創造 ～グローバルビジネス現場での東大生の本気の挑戦～

2024年8月30日
ダイキン工業株式会社

東大グローバル・インターンシップ・プログラム実施の経緯・背景



**東大とダイキンだからこそ実現できる“価値”は何か、
グローバルに事業展開をしているダイキンだからこそ提供できる“価値”を考えた。
ダイキンの海外拠点で、グローバルビジネスのリアル、社会課題を体感し、
視野を広げ、視座を高めるチャレンジ経験を提供。**

東大・ダイキンの大グローバル・インターンシップ・プログラムの特徴

➤ 東大とダイキンの共同プログラム

東大の教職員、ダイキンのメンバー（海外拠点含む）が一体となって企画・運営。
組織対組織の人材交流のグローバル拡大につなげていく。

➤ 世界で活躍できるグローバル人材の育成

世界180か国以上で事業を展開するダイキンの海外拠点を訪問。
ビジネスの最前線を体感し、事業課題や社会課題の解決につなげるプログラム。
学部・学科、学年は不問。

➤ 東大とダイキンだからこそ実現できる多様性のあるプログラムとテーマ

世界一周し、世界を横断的にみながらビジネス提案をするインターンシップや、地域に滞在し、拠点の課題解決を考えるインターンシップなどを企画。

取り組むテーマは、当社の経営課題であり、**グローバルビジネスの“リアル”を感じてもらえるテーマ。**

（例：環境対応・ESG対応、Z世代や地域の気候・風土に応じた商品や事業提案、新たなビジネスモデル提案、マーケティング、人材マネジメント、ブランド戦略など）

✓ 渡航費、滞在費はダイキンが負担。学生はプログラムへの深いコミットメントを約束。

これまでの訪問拠点

ダイキンのグローバル拠点を訪問・滞在
2019年 10カ国 22拠点 | 2022年 2カ国 8拠点 | 2023年 6カ国 10拠点

※国数は日本含まず、拠点数は日本含む

欧州

- ・ダイキンヨーロッパ
(ベルギー：ブラッセル、オステンド、アントワープ)
- ・ダイキンエアコンディショニングUK (英国)
- ・AHTクーリングシステムズ (オーストリア)
- ・ザノッティ (イタリア)
- ・ダイキンエアコンディショニングドイツ社 (ドイツ)
- ・ダイキンエアコンディショニングフランス社 (フランス)

日本

- ・本社 (大阪)
- ・東京支社
- ・テクノロジー・イノベーションセンター (大阪)
- ・堺製作所 (大阪)

米国

- ・ダイキンコンフォートテクノロジーズノースアメリカ (ヒューストン)
- ・ダイキンアブライド・アメリカズ (ミネアポリス)
- ・ダイキンUS (ニューヨーク、ワシントン)
- ・ダイキンアメリカ (ディケーター、オレンジバーグ)
- ・オープンイノベーションラボ (サンノゼ)

インド

- ・ダイキンエアコンディショニングインド
(グルガオン、ニムラナ、スリシティ)

アジア

- ・ダイキンインダストリーズタイランド (バンコク)
- ・サイアムダイキンセールス (バンコク)
- ・ダイキンベトナム (ホーチミン)
- ・ダイキンエアコンディショニングシンガポール社 (シンガポール)

中国

- ・大金中国 (上海、北京、武漢)
- ・大金空調 (蘇州)
- ・ダイキンオープンイノベーションラボ (深セン)

実施概要

初年度(2019年度)実施概要

- 東大の公式インターンシップ・プログラムとして募集。応募者241名のうち、書類および面談に合格した**48名**の学生が参加。

プログラム内容

① 世界一周型 ビジネス提案インターンシップ (3週間、10名)

米国、ベルギー、ベトナム、中国の拠点を訪問し、世界共通で考えたい「次の一手」を提案

② 地域滞在型 プロジェクトワーク・インターンシップ (2週間、9～10名×4地域 計38名)

米国、欧州、中国、アジアの各拠点に2週間滞在し、ビジネス課題の解決や新しいアイデアを提言

写 真

アメリカ式の空調が導入されて
いる住宅を視察

欧州技術メンバーとの議論

エアコン販売店でのヒアリング

蘇州工場の見学

✓ **日本での事前セッション、最終報告会** (世界一周型、地域滞在型 共通)

事前セッションとして、日本で工場見学、ワークショップを実施。ダイキンのビジネス、課題を学ぶとともに、インターンシップテーマに対する仮説・提案を立案。海外渡航後は、東大、ダイキンの幹部も出席のもと、最終報告会を実施。

世界一周型 ビジネス提案インターンシップ

気候、風土、文化などはもちろんのこと、ビジネス課題も異なる複数地域・拠点を訪問した上で、提案を実施。

<世界一周チームの活動（2019年）>

グローバルで通用するアイデア空調製品、人の暮らし・営みに密着した空調機ならではの新たな顧客価値を考える「製品・顧客価値チーム」とダイキングループの強さの原点・人を基軸におく経営の次の発展を考える「人基軸チーム」の2チームに分かれて活動を実施。

■米国（8/19～8/25）

米国では、ヒューストンとニューヨークを訪問。
米国で2番目の広さ（当時）の工場を見学したり、実際の住宅を訪問し、米国独自の空調システムを学ぶ。

■欧州（8/26～8/30）

ベルギーブラッセルにあるダイキンヨーロッパ本社、オステンド工場、ゲントオフィスを訪問。幹部との対話、現地社員との欧州の市場動向や戦略・課題のディスカッションなどを実施。

写 真

ヒューストンの工場を訪問

ニューヨーク郊外の住宅の
空調事情の調査の様子

現地幹部との対話

現地社員からのAI/IoT
開発戦略の説明
コントロール新商品にも興味津々

■ベトナム（8/30～9/2）

ホーチミンのダイキンベトナム社を訪問。社長をはじめ、幹部とのディスカッション、量販店訪問等を実施。成長市場であるベトナムの勢いや先進国とは異なる空調市場を体感。

■中国（9/3～9/8）

中国では、上海、蘇州、深圳の3都市を訪問。目まぐるしく変化する中国市場の状況を体感。深圳では、ベンチャー企業のメンバーとの交流なども実施。

写 真

オフィスでのディスカッション

量販店を訪問し、営業メンバーや量販店の店員などにヒアリング

上海ショールームの見学

深圳オフィスでの交流会

蘇州工場の見学

帰国後に提案をまとめ、9月20日の成果報告会で報告を実施

地域滞在型 プロジェクトワーク・インターンシップ

米国、欧州、中国、アジアの各拠点に2週間滞在し、ビジネス課題の解決や新しいアイデアを提言。

<米国滞在メンバーの活動（2022年）>

- ヒューストンにて、工場見学、販売卸業者などを訪問。ワシントンでは、空調工業会や省エネ推進団体幹部の講話、米国議事堂見学を実施。ニューヨークでは、ショールーム、ビル・住宅を見学。米国の空調事情、環境・エネルギービジネス等について学んだ上で提案を立案。

写 真

幹部との対話からダイキンの北米事業戦略を学んだ

ワシントンでは、米国議事堂も見学

ニューヨークでは、ビルや住宅を訪問。普段目に見ることがない機械室の見学を含め、米国ならではの空調事情を学んだ。NY大学の准教授より、環境・気候変動に関する講義・ディカッションを実施。

<タイ滞在メンバーの活動（2022年）>

- 空調機の販売店訪問、現地社員とのディスカッション、現地社員の自宅訪問、映画館等でのZ世代へのアンケート調査、現地大学生へのインタビュー調査等を実施し、現地の生の声から提案を立案。

写 真

工場見学にて、グローバルでのモノづくり現場を体感

現地社員の自宅訪問。生活事情についてインタビューを実施

映画館・大学などでZ世代にアンケート・インタビュー調査を実施。約500人の声を集めた。

タイ人社員とのディスカッションでタイのリアルな市場動向を把握

グローバルインターンシップの実施実績

- 2019年に初めてのグローバルインターンシップを実施以降、コロナ禍での海外渡航ができない時期もあったものの、**東大のグローバル化推進、グローバル人材育成を狙いに継続して取り組みを実施。**
海外渡航経験者は合計113名。2024年度は、31名が8～9月に海外渡航予定。

年度	実施内容
2019年	計48名（世界一周10名、地域滞在38名）、241名が応募。10か国、22拠点を訪問。
2020年	海外渡航中止：計100名、1dayグローバルワークショップを実施。
2021年	海外渡航中止：計23名、海外とのオンライン・国内でのオフラインのハイブリットグローバルインターンシップを実施
2022年	計20名（米国、タイでの地域滞在 各10名）。2か国、8拠点を訪問。
2023年	計45名（世界一周9名、地域滞在36名）。420名が応募。6か国、10拠点を訪問。
2024年	計31名（地域滞在24名、地域横断7名）。320名が応募。4か国、11拠点を訪問予定。

<2024年のグローバルインターンシップの実施予定>

①地域滞在型グローバルインターンシップ（公募型インターンシップ）

参加者・訪問先：米国、タイにそれぞれ12名ずつ、計24名。

テーマ：（米国）ダイキンの環境技術を活用した北米住宅市場向けソリューション新戦略の立案
（タイ）MZ世代によるタイMZ世代向け新商品企画・販促・プロモーション提案

②地域横断型グローバルインターンシップ（研究特化型インターンシップ）

参加者・訪問先：社会連携講座の関係先等から教員推薦で募集を実施。計7名。ベルギー、インドを訪問。

テーマ：地域ごとに異なる環境・社会問題において、ダイキンがに必要なアクションとは何か
～環境規制やエネルギー問題に対する新たな戦略を考える～

参加学生の感想

●旅行では絶対に経験できない“世界の現実”を肌で感じ、視野が広がった。

- ・ 観光旅行では経験することができない世界の現場を知ることができた。中国、アジアの成長・発展のスピードを肌で感じた。
- ・ “世界の動き・変化・多様性”を知り、経験できたことが貴重。日本よりずっと発展している世界をみて、刺激を受けた。
- ・ 東大生として狭い世界にいることを実感した。東大の常識が通用しない世界があることを認識できたことがよかった。
- ・ 空港に降りた瞬間から異世界だった。テレビなどで見て、想像していた世界よりさらに異世界で驚いた。

●人生・将来を考えるきっかけになるとともに、自分自身の強み・課題に気づくことができた。

- ・ 就職するか、ドクターに行くかどうかを迷っていたが、それは、自分のこれまで見ていた狭い世界・視野での、平和な日本における選択肢だということに気付いた。人生で自分が本当に何をしたいのか考えた。留学も視野にいれて、もっとチャレンジしたいと思った。
- ・ 起業することにも興味があったが、シリコンバレーで“世界の基準”を知り、打ちのめされた。シリコンバレーで通用する人材になりたいと思った。
- ・ 海外駐在社員、現地社員の方と接し、グローバルに活躍することについて具体的なイメージができた。グローバル競争、ビジネスや現実の世界の厳しさを知り、グローバル人材にはまだほど遠い自分に気付くことができた。努力したい。
- ・ グローバルで活躍していくためには、英語力を伸ばすことも必要だが、それよりももっと現地のことを知ることが大事だと実感した。自分の目で見ることの大切さを感じるとともに、答えがないことに答えをだしていくことの難しさを痛感した。

●チームのメンバーをはじめ多様なメンバーから多くの学び・気づきを得た。

- ・ ダイキンの幹部・社員から、企業経営、働くこと、プライベートのこと等々、いろいろな話を聞くことができ刺激的だった。ダイキンのメンバーだけでなく、有識者の方など含めて、2週間でこれだけいろいろな人に出会った経験は、人生初だった。
- ・ 学年、学部も全く違う個性的なメンバーと濃密な時間を過ごした。メンバー同士での意見の衝突などもある中で、多様なメンバーから多くのことを学び、大きな成長ができた。

グローバルインターンシップ参加学生への追跡アンケートより

東京大学事務局より、グローバル・インターンシップ・プログラムの参加学生を対象に追跡調査を実施。プログラムへの参加がその後の学生生活に有意義な影響を与えていることがわかった。

- 回答したすべての学生が、**グローバルインターンシップの体験が現在の進路に影響している**と考えている。
- プログラム参加によって向上したスキルは、**異文化アジリティ、語学、チームワーク、社会問題への意識、リーダーシップ、海外志向、コミュニケーション能力**など。
- プログラム参加により、進路に直接の影響を与えていることがわかるコメントがあった。
「グローバル人材としてさらに成長するため、海外留学を決意した」
「海外に関わる部門を志向するようになった」
「ビジネスの影響力を実感し、起業の意志が強くなった」
「ビジネスを通じてサステナブルに社会貢献ができることを実感した」
「シリコンバレーで博士号取得者とたくさん話し、グローバルで活躍する上では専門性が重要だと実感。大学院への進学を決めた」 など

東大、ダイキンにとっての価値とは ~インターンシップ、人材交流を通じて

東京大学 & ダイキン

お互いの組織に対する理解の促進 協創の加速、人材交流の拡大

幹部～若手まで、様々なメンバーのグローバルでの交流が加速
新たなグローバルでの人材交流の拡大も

グローバル人材の育成
東大のグローバル化

東京大学

協創を通じた学び・刺激
イノベーション創出

意欲の高い学生との出会い

ダイキン

参加人数・訪問拠点・テーマなどを毎年改善・工夫しながら継続実施中。
グローバル人材の育成と東大・ダイキンの組織対組織の人材交流の
加速につなげていきたい。

